

令和2年9月12日

京都府高体連ラグビー専門部

第100回全国大会京都府予選における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

1 主旨・目的

京都府高体連ラグビー専門部は以下の感染防止対策ガイドラインを策定し、大会関係者が感染防止対策をそれぞれの学校毎・組織毎に周知し、対策を確実に講じた上で大会へ臨むことを目的とする。

2 関係者共通の対策

大会会場に来場する全ての関係者(大会役員、マッチオフィシャル、マッチドクター、補助員、警備員、責任教師、監督、顧問、チームスタッフ、部員、部員の保護者、報道関係者、アナウンス係、当日出場校の管理職および教員、大会運営責任者が認めた者)は

- (1) 受付で検温を行う。
- (2) 当該試合予定日の2週間前から「健康観察報告シート(様式D)」を記入し、試合当日に持参する。
- (3) 当該試合2日前から「行動記録保管シート(様式E)」を記入し、各自保管しておく。
- (4) 試合会場に入場する者は全て受付で所定の手続を経て入場を許可される。
- (5) 3つの密(密閉、密集、密接)を徹底的に回避する。
- (6) 原則、マスク等を着用する。
- (7) 手洗い・うがいの励行、咳エチケットを守る。
- (8) 球技場内諸室のドアノブ等、不特定多数の者が接触する場所は定期的に消毒する。

3 試合当日の対策(試合会場)

<検温>

大会会場に来場する全ての関係者は、会場入場の際、必ずマスク等を着用する。大会会場に来場する全ての関係者は検温を実施する。37.5℃以上の熱がある場合は入場できないこととする。また、発熱がなくても息苦しさ(呼吸困難)や強いだるさ(倦怠感)などがある場合も入場できないこととする。

<対策>

- (1) 会場入口、本部、各更衣室、ベンチ、トイレに消毒液を設置する。
- (2) ベンチでは人と人との距離をとり、原則マスク等を着用する。
- (3) 更衣室およびベンチは、使用したチームが使用後に掃除・消毒を行う。
- (4) グラウンド準備および片付けは両校協力して行う。作業終了後は手洗い・消毒を行う。

4 参加校の対策

- (1) 各チームはWRの「COVID-19Courses」を受講し資格を得た者を「新型コロナウイルス問題担当者」に指名して予防策を講じるとともに、緊急時の大会運営側との連携窓口となる。

- (2) 熱中症予防にも十分に配慮することとし、水分補給を行うが、各人のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回しなどを行わないようにする。
- (3) 飲食については密にならず、周囲の人とは対面を避け会話を控えめにする。
- (4) マスク等を以下の場合には着用しない、または、着用しなくてもよい。
 - ①運動中
 - ②熱中症予防（3つの密を回避していることが条件）
- (5) 各試合会場周辺でアップをする際は、大きな声を出さないように心がける。
- (6) 更衣室では密にならないように人数制限をしながらすみやかに更衣を行う。
- (7) 次の試合の出場チームは会場の外で指示があるまで密にならないように気をつけて待機する。
- (8) 試合前後は素手でのタッチ・握手を控え、挨拶は黙礼のみ行う。
- (9) ミーティングを行う場合は、会場では行わない。
- (10) 各試合会場によって使用についてのルールがあるので会場施設係員または大会役員の指示に従う。

5 応援席への入退場および観戦時の対策

- (1) 今大会は可能な限りの感染防止対策を講じた上で、当日の試合登録外部員と部員の保護者（以下、保護者と表記）の観戦を認める。

ただし、保護者は各チーム30名以内とする。3年生の保護者を優先する。3年生の保護者の観戦者数が30名に満たない場合は、2年生1年生の保護者が観戦することも可能とする。
 - (2) 各チームは教職員から【引率責任者】を選出する。【引率責任者】は応援席に関する全ての責務を負う。＊グラウンドで指導する者以外から選出する。
 - (3) 【引率責任者】は「入場者リスト（様式A）、（様式B）、（様式C）」を試合当日提出する。
 - (4) 【引率責任者】は自チームの入場者すべての「健康観察報告シート（様式D）」を回収し、「入場者リスト」と共に試合当日、受付担当者に提出する。「健康観察報告シート（様式D）」は点検終了後【引率責任者】に返却する。

太陽が丘球技場での試合においては、自チームの入場者すべての『施設利用に係わる自己体調管理チェックリスト（様式F）』を回収し、試合当日、受付担当者に提出する。
 - (5) 保護者は密にならないように気をつけながら一団となって入場する。【引率責任者】は受付担当者と共に入場者数を確認する。
- <遅刻をした保護者の対応>
- ①遅刻をした保護者は自校の【引率責任者】と連絡を取る。
 - ②【引率責任者】は受付担当者に連絡する。
 - ③両名立ち会いの下に検温を行い、「健康観察報告シート（様式D）」確認→入場
- <途中退場の保護者の対応>
- ①途中退場したい保護者は自校の【引率責任者】と連絡を取る。
 - ②原則、再入場は認めない。
- (6) 応援席は完全入れ替え制とする。受付担当者が【引率責任者】に連絡をするので、【引率責任者】は自チームの応援者に指示をする。
 - (7) 入場時刻は、原則、試合開始20分前とする。ただし、前の試合が伸びた場合等には入場時刻を遅らせることがある。いずれも、受付担当者から【引率責任者】を通じて連絡をする。
 - (8) 入場直前までは会場の外で指示があるまで密にならないように気をつけて待機する。
 - (9) 観戦は大会運営側が定めたエリア内でのみ認める。

- (10) 応援席では、両手を伸ばしても触れあわない程度の距離を保ち、分散して着席をする。
- (11) 試合中できるだけ自席を離れないようにする。
- (12) 撮影は自席からのみ行う。
- (13) 試合中の応援は拍手、手拍子を基本とし、メガホン等の使用は禁止する。また、大声を出すこと、大人数で声を合わせて出すこと、歌を歌うこと、立ち上がって踊ること、エールの交換等も禁止する。
- (14) 試合終了後は【引率責任者】の指示の下、自席周辺を消毒する。消毒する用具は各校で準備する。
- (15) 保護者は密にならないように気をつけながら一団となって退場する。退場後は一団となって球技場周辺にとどまることはしない。
ミーティングや選手の出待ち・写真撮影は行わない。速やかに会場を後にする。

6 大会前または大会中に関係者から感染者等が発生した場合の対応

- (1) 大会参加校は感染者等が発生した場合はすみやかに京都府高体連ラグビー専門部常任委員会に連絡をし、常任委員会に一任する。
- (2) 京都府高体連ラグビー専門部常任委員会は関係機関と連携し協議の上対応する。状況によっては棄権や大会中止もあり得る。